

## 5 指宿の特色を生かした果樹産地育成

### 指宿の特色を生かした果樹産地の育成

#### 成果の要約

- 1 マンゴーでは、ビーフライの活用により、着果が向上し、収量増に繋がった。
- 2 施設不知火では、簡易土壌水分計を活用したかん水に取り組んだ。
- 3 K-GAPは11人、3法人が継続取得し、技術改善の取組が進んだ。
- 4 ロボット草刈機を活用した実証では、カンキツ園地の草刈り作業時間を89%削減できた。

#### 1 対象

JA いぶすき熱帯くだもの部会8戸(マンゴー)  
いぶすき農協開聞果樹部会(不知火)3戸  
K-GAP取得3組織(1法人含む)

#### 2 課題を取り上げた理由

指宿地域では、かごしまブランドのマンゴーや施設不知火などのカンキツを中心に栽培されている。

マンゴーでは、受粉の不安定による減収や天敵利用園でのカイガラムシ被害果の発生、施設不知火では、単収や果実品質の向上が課題となっており、高品質果実生産技術の確立が必要となっている。

#### 3 活動の内容及び成果

##### (1) マンゴーブランド産地の育成



写真1 かごしまブランドのマンゴー

ア 講習会、巡回を通じて、安定生産、品質向上に向けた生産技術の確立支援を行った。  
また、隔年結果防止検討のため、各ハウ

スの温度管理、葉数・着果個数等を調査・検討した。今後、隔年結果是正に向け、経営的に問題とならない軽減策を提示していく。

イ ビーフライ活用による受粉実証ほを2戸のマンゴーハウスに設置し、受粉率向上を確認した。ビーフライの活用が着果向上と収量増に繋がった。



写真2 ビーフライによる開花期受粉

ウ アザミウマ類の発生に対処するため、開花期前から天敵が導入され、定着してきている。果実肥大期以降は、カイガラムシ類の発生が見られる園があるが、農薬散布は果皮障害が発生するため、防除が困難となっている。このため、カイガラムシ類に対応した天敵導入の情報収集を行った。

## (2) 不知火産地の育成

ア 講習会，巡回を通じて，安定生産，品質向上に向けた生産技術の確立支援を行った。

また，単収向上に繋げるため，ジベレリン処理による落花防止に取り組んだ。落花防止の効果は認められ，調査樹は前年を上回る収量を確保できた。

イ 品質向上を目的に簡易土壌水分計を活用したかん水を推進するため，8月から12月まで月1回の果実分析を実施し，果実品質の状況を踏まえた，かん水実施を支援した。



写真3 不知火での簡易土壌水分計の活用

## (3) 安心安全な果樹生産支援

ア K-GAPを取得している組織や法人の継続取得を支援するとともに，生産履歴を活用し，土壌診断に基づく施肥，栽培暦の改定や講習会等を通じて適期の防除の実践など技術改善の取組を支援した。

## (4) ロボット草刈機による作業の省力化

草刈り作業の省力化を図るため，カンキツ園3ほ場 50aで，ロボット草刈機の効果について実証した。

作業時間は89%削減され，実証農家からは，「夏場の重労働から解放され，体への負担が軽くなった。規模拡大時には導入を検討したい。」との感想があった。



写真4 除草中のロボット草刈機



写真5 ロボット草刈機現地検討会

## 4 今後の課題

- (1) マンゴーの連年安定生産技術の確立
- (2) 不知火の高品質果実生産
- (3) 安心・安全な果実生産支援

## 5 担当した普及職員（○はチーフ）

○遠竹